

清水遺跡 (2) 発掘調査説明会資料

財団法人山形県埋蔵文化財センター 2010年11月21日(日)

調査要項

遺跡名	清水遺跡(2) (しずいせき)	
遺跡番号	平成11年度登録	
所在地	山形県村山市大字名取字清水北	
調査委託者	国土交通省東北地方整備局山形河川国道事務所	
調査原因	東北中央自動車道(東根～尾花沢)	
現地調査	平成22年5月18日～11月30日	
調査面積	4,900平方メートル	
遺跡種別	集落跡	
時代	平安時代	
遺構	おとし穴、竪穴住居跡・掘立柱建物跡・溝跡・土坑・柱穴等	
遺物	土師器・須恵器・金属器	
調査担当者	調査課長	阿部明彦
	課長補佐	伊藤邦弘
	専門調査研究員	氏家信行
	主任調査研究員	齋藤健(調査主任)
	調査研究員	中里秀樹
		江波大
調査員		伊藤純子
		山田めぐみ
調査指導	山形県教育庁文化財保護推進課	
調査協力	東日本高速道路株式会社東北支社山形工事事務所・村山市教育委員会・山形県教育庁村山教育事務所	

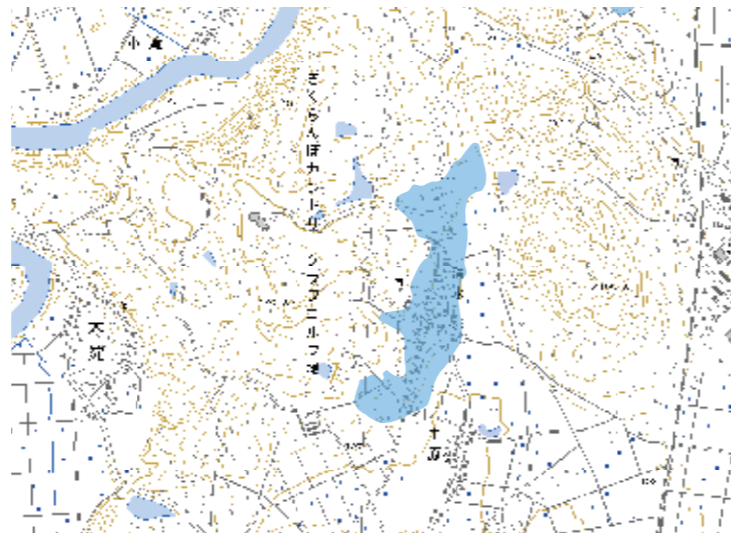


図1 遺跡位置図(1/25,000)

跡の範囲を確認するために、トレンチを設置し、遺構及び遺物が確認できた約4,900㎡について本調査を行いました(図2)。本調査では、重機で表土を除去した後、手作業で土を削って遺構を探し、それを丁寧に掘り下げて、住居跡などの遺構や出土した土器等を図面や写真に記録しました。調査は11月30日に終了予定です。

2 見つかった遺構と遺物

今年度は、調査区をA区B区に分けて調査を行いました。見つかった遺構は、竪穴住居跡22棟・掘立柱建物跡3棟・土坑などで、主に平安時代のものと考えられる遺物が出土しました。これらの遺構には遺構を覆う土の中に火山灰の層を含むものがあり、915年に噴火したとされる十和田火山の火山灰である可能性もあります。また、B区からは縄文時代のものと考えられる落とし穴4基も見つかっています。

B区は畑地として利用されていたため、攪乱・削平が激しく、遺構のほとんどはA区に集中しています。A区は斜面を含む立地ですが、普通は遺構が少ない斜面上にも、竪穴住居跡や掘立柱建物跡などの遺構が見つかりました。

竪穴住居跡は2棟がB区、残りはA区で見つかり、多くにカマドが付属しています。建て替えの可能性が考えられる、数棟が重なり合った住居も確認されました。これらの建物は向きが

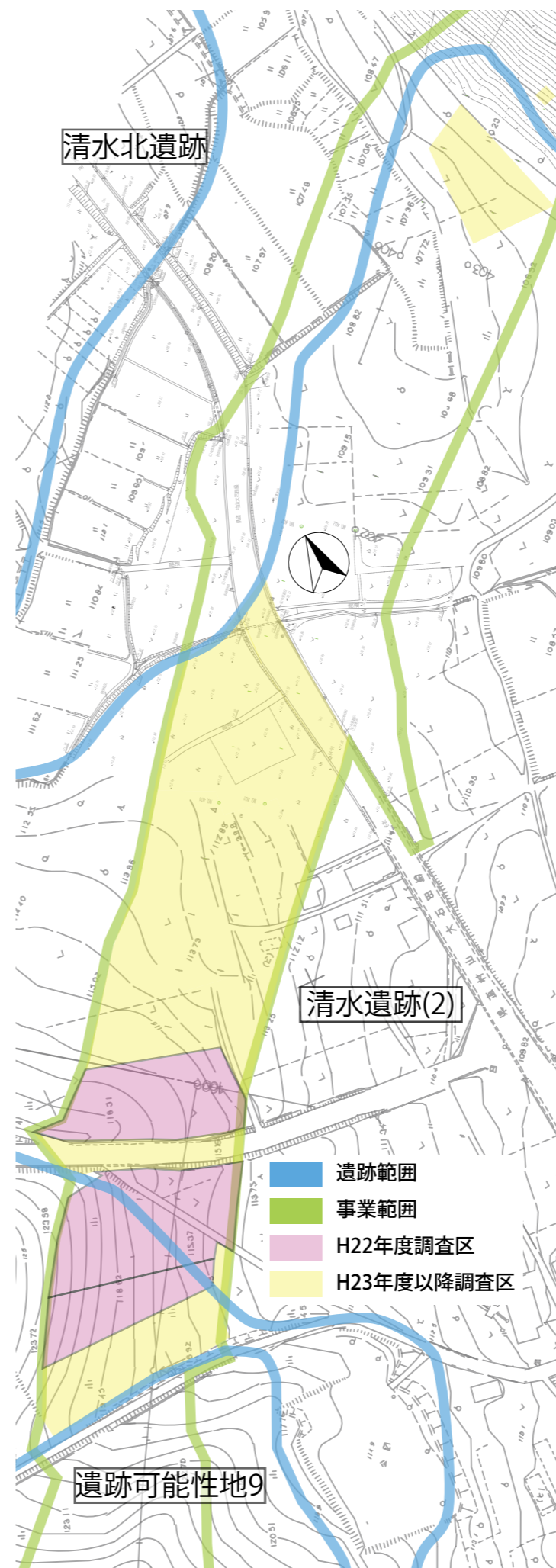


図2 調査区概要図(1/2,000)



写真1 A区全景(北東から)

ほぼ同じことから、近い時期に使用されていたと考えられます。住居跡内からは、主に須恵器の坏や土師器の坏・甕などの土器類が出土しています。また、ST5 竪穴住居跡からは刀子と考えられる金属製品が出土しました。

掘立柱建物跡は3棟あり、柱間が2間×3間のものと2間×2間のものがあります。いずれもA区で見つかっています。これらも、竪穴住居跡と同じ向きに建てられていることから、竪穴住居と掘立柱建物は同時に建てられていたことが考えられます。

3 まとめ

今回の発掘調査の結果、水はけのよい丘陵の斜面地に竪穴住居が並んでいることが分かりました。また、火山灰の堆積している様子や、出土した土器の特徴から、集落は9世紀後半頃から10世紀初頭まで存続していたと考えられます。調査は来年度も継続する予定で、さらに詳しい成果が上がることを期待されます。



写真2 ST137 竪穴住居跡から出土した土師器の甕

1 調査の概要

清水遺跡は、村山市東部の、最上川が蛇行する右岸部にあり、清水地区のなだらかな丘陵上に位置しています(図1)。すぐ近くには、県道村山大石田線が走り、さくらんぼカントリークラブゴルフ場にも隣接しています。今回の調査は、東北中央自動車道東根～尾花沢線の建設工事に伴って行なわれたもので、遺跡範囲が広いとため、南側部分を「清水遺跡(1)」、北側部分を「清水遺跡(2)」としました。5月から始まった調査では、まず遺



写真8 ST137 竪穴住居跡検出炭化材



写真4 SD1009 おとし穴(縄文)



写真3 ST1002 竪穴住居跡で検出された火山灰



写真9 SX101 竪穴遺構完掘状況

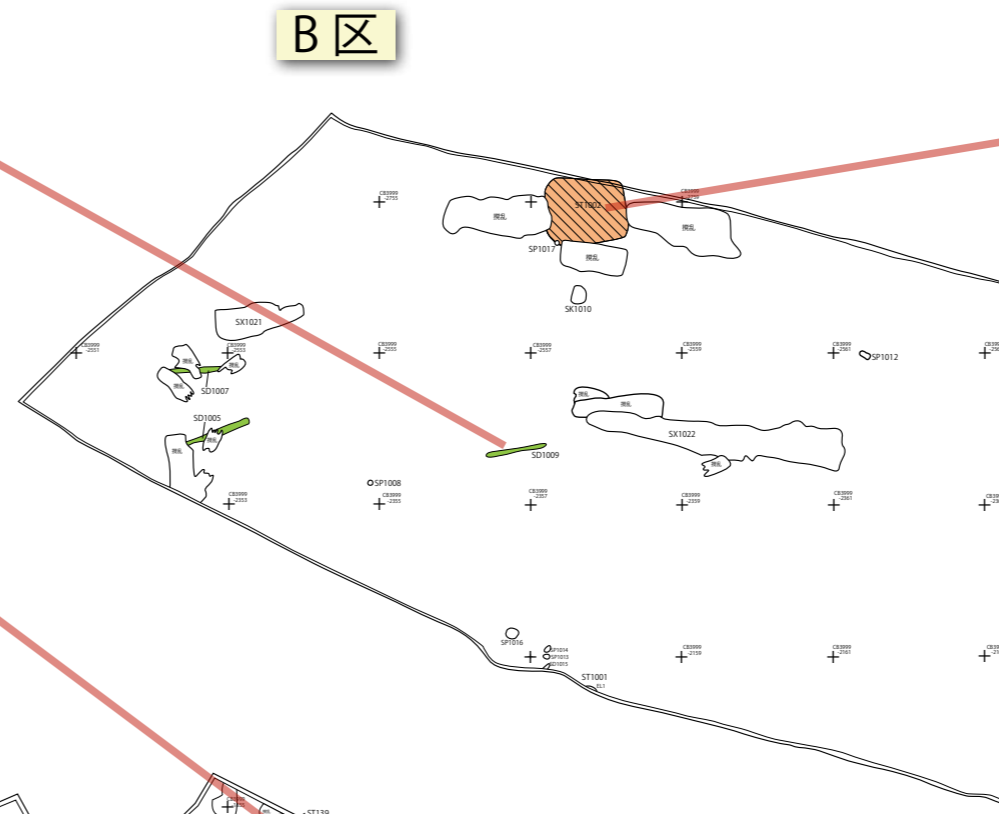


写真5 ST56 竪穴住居跡カマドから出土した土師器壺



写真10 ST5 竪穴住居跡完掘状況



写真6 ST56 竪穴住居跡カマド完掘状況



写真11 ST5 竪穴住居跡出土の刀子

- 凡例
- おとし穴
 - 竪穴住居跡
 - 掘立柱建物跡
 - 火山灰を含む遺構
 - ST 竪穴住居跡
 - SB 掘立柱住居跡
 - SK 土坑
 - SP ピット
 - T 確認トレンチ

図3 遺構配置図 (1/400)



写真7 ST65 竪穴住居跡のカマド